

平成30年度 特色ある教育活動  
～さまざまなつながりの中で保護者と共に～

越前市王子保幼稚園

1 園について

今年度は、3・4・5歳児17名が在籍し、四季を感じながら地域の豊かな自然の中で過ごしている。また、近くにJR王子保駅があるので、JRを利用したり(今年度は台風のため中止になった)、近くにバス停があることから、市民バス「のろっさ」を利用したりして、当園ならではの園外活動を体験できている。

また、小学校と併設されているので、学校に出かけたり、小学生が幼稚園に出向いたり、小学生と触れ合い親しんでいる。

2 さまざまなつながりの中で保護者と共に

本園は、「元気で明るい子」「表現豊かに活動できる子」「やさしく思いやりのある子」をめざし、園と家庭の連携協力や、地域の資源や様々な人とのつながりを生かしながら、子どもを育てていく事を大切にしている。具体的には次のような取組を進めてきた。

○みんなで王子保幼稚園!○

今年度は園児数が減り、1部屋保育室が空くことになり、子ども達と話し合い「わくわくルーム」と名前を付けて、朝の片付け後はクラス隔たりなく全園児一緒に遊ぶ時間を設けた。大きい子は小さい子のお世話をしたり、小さい子は大きい子の遊びに刺激されつくりっこやままごと遊びをしたりなど真似をして遊ぶ姿が多く見られる。また、爆弾鬼やドッジボールなどルールのある遊びも一緒に楽しみ、その中で大きい子が小さい子を自然とリードする姿が見られ、人数が減ったものの、団結力があり、とても仲が良い。何かあると「がんばる気持ち!」と掛け声をかけ頑張ってきた。



じゃがいも何個隠れたかな? 1. 2. 3...



みんなで作ったお風呂! 気持ちいいね!

○保育参加○

1年に1度、保護者に“お父さん、お母さん先生”として園の保育に参加してもらっている。お父さん、お母さんの日頃の家庭での子育てを活かし、絵本の読み聞かせやままごと遊び、ダイナミックに体全身で触れ合うプール遊びやドッジボール等の遊びを一緒に楽しんでもらった。子ども達は、この日がとても楽しみで、自分のお家の人と一緒に登園して遊ぶことのできる喜びや、友達のお父さんやお母さんと一緒におしゃべりしたり遊んだりできる喜びで普段よりさらに嬉しそうな表情をしていた。



お父さん先生~! トンネルくぐり見てて~!

職員も保護者の方々と過ごせる時間はとても貴重で、保護者に園の子どもの様子を深く知ってもらうことができた。またその中で、できるできないという目に見える成長や頑張りだけでなく、それに至るまでの心の成長や葛藤、頑張りを見てもらえ、そういった姿を共に共有し喜び合えた。

○保護者会・祖父母行事○

今年度は参加型の保護者会や行事を保護者の方と共に取り組むことができた。1学期には、夏祭りのお店に向けた看板作りや、夏祭りでは親子で一緒にお店の係を



親子での  
楽しい活動



し、親子で一緒に満足感や達成感を得られる体験は本当によかった。2学期には、祖父母参観で、運動会を行い、体育教室の先生を招いて一緒に運動遊びを楽しんだ。クリスマスコンサートでは、保護者が所属している“ふくピヨ隊”を招いて、一緒に演奏を聴いたり、踊ったり歌ったりと楽しむことができた。音楽を通して心も体もほっと温まることができた。3学期には、自治振興会と協賛してもちつき会をし、地域の方の前で歌を披露したり、一緒にもちつきを楽しむことができた。保護者会では、親子でスタンプラリーを行い普段の子どもの遊びと一緒に楽しんでもらうことで、子どもと遊びの共有や普段の頑張りを見てもらうことができた。



さまざまな  
人との交流

### ○さまざまな人との交流○

子ども達は、様々な人との関わりや触れ合いを通して、様々なことを感じとり、体験していく。年間を通しての併設小学校のお兄さんお姉さん達との関わりや授業の見学は、小学校への憧れの思いを持ったり、遊びや生活態度等でとても良い刺激を受けたりしている。また、園長先生や副園長先生、学校給食の調理員さんや養護の先生、管理人さんなども園のために携わってくださっていることが次第に分かり、姿が見えるとすすんで挨拶し話かけたりしている。

シニアクラブややあしきの会の方との交流も楽しく、一緒にボーリング遊びをしたり、“おうしおやあしき”の歌の由来や実際に踊りを生の演奏を交えて教えてもらったりして貴重な体験をすることができた。

また、同地区にある愛星保育園の子達や近隣地区の坂口幼稚園の子達とも年間を通して、交流を重ねている。最初は遠慮する様子が見られるものの、遊びを通して次第に話をし、名前を覚え、心を通わせ一緒に何かを作ったり、活動したりする姿が見られた。

他にも、様々な方々と関わりがあってこそ、子ども達の体験や活動は成り立っていると日々感謝している。野菜の栽培や収穫体験をご指導くださったり手伝ってくださる地域のおばあちゃん。また、昨年の交流をきっかけに園のことを気にかけてくださり、子ども達に季節や行事を感じるような花々や門松などを提供して下さる地域の方々がいっぱいいる。

未就園児体験保育では、年の小さい子達の姿や様子に「可愛い！」と口にして、優しく関わる姿がよく見られた。また、日頃の子育ての悩みを話したり、相談したりする場を設けることもできた。

### 3 実践を通しての成果

園だけでなく、保護者の方々の協力や地域のさまざまな方達の協力で、地域の子どもの安心感を感じながら、さまざまな方々と関わり、触れ合いを深め、沢山の心が動くような体験をすることができた。

また、子どもを通して、園が地域の方々同士の親しむ場になったり、一緒に子育てしようと感じてもらえるようなつながりの場になったりすることができた。



学校の先生に絵本を読んでもらったよ!



小さい子と一緒にヨガやバルーン遊び



なるほど～



べったんこ!